

嘉年の自然を次の世代へ

～ 山口市嘉年地区の生きものとビオトープの紹介 ～



生きものを身近に見たり、さわったりしたことはありますか？

嘉年地区には、他の地域ではなかなか見ることができない豊かな山林と農業の営み（人が生活する里山）に深く関係した生き物がたくさんいます。

この環境を守るために、ほ場整備を行った際にも、多くの生き物にとって良好な生息場所となるよう「ビオトープ」がたくさんつくられ、地元の方に守られてきました。

里山の生きものを保全するには、農業が続けられ、人が関わる必要があります。これからもずっと嘉年地区の生きものが見られるように、多くの人に生きものを知ってもらい、気軽に関わってほしいと思います。

写真は、令和3年度「生きもの観察会とビオトープづくり」に参加した阿東地域の皆さん

「生命」を意味する bio（バイオ）と、「場所」を意味する topos（トポス）を組み合わせたことばで、動植物が安定して生息・生育できる空間のこと。

★・・・ピオトープの設置場所

これはとても
めずらしい!

ビオトープ花ヶ迫

タカハヤ淵

夏にはホテルが飛び交う

金守神社

以前は小学校
があったんだ

水路魚道って何？

魚が川（水路）の上流へのぼりやすいように造った水路のこと。

ため池型ビオトープ

ビオトープ桜

生きものの種類によって生活する場所がちがいます。田んぼやため池には何がいるかな？

田んぼや掘上げ※
の生きもの

両方にすむ
生きもの

ため池の生きもの

「嘉年ゆめ倶楽部」って何？

ピオトープを造った平成15年当時から、表札の設置や植樹、現在も草刈りや清掃を行っている地元の人たちのグループ名です。

水田魚道って何？

魚が川（水路）から田んぼに
あがりやすいように造った水
路のこと。ドジョウやフナは田
んぼにあがって産卵します。

※掘上げ・・・田んぼの脇につくられる小溝。
阿東地域では「よけじ」と呼ばれています。

嘉年地区でみられた水辺の生きもの(2019年~2021年調査)

No.	分類	種名	重要種		国外 外来種
			環境省 RL	山口県 RDB	
1	貝類	マルタニシ	VU	NT	
2		カワニナ			
3		ヒメモノアラガイ			
4		ハブタエモノアラガイ			○
5		サカマキガイ			○
6		カワコザラガイ属			
7		シジミ属			
8		ドブシジミ			
9	甲殻類	ニッポンヨコエビ			
10		ミズムシ			
11		ミナミヌマエビ			
12		チュウゴクスジエビ			○
13		アメリカザリガニ			○
14		サワガニ			
15	水生昆虫類	フタバカゲロウ属			
16		アオイトトンボ属			
17		キイトンボ			
18		クロイトトンボ属			
19		モノサシトンボ			
20		グンバイトンボ	NT		
21		ハグロトンボ			
22		ニホンカワトンボ			
23		アサヒナカワトンボ			
24		オオルリボシヤンマ			
25		マルタンヤンマ			
26		クロスジギンヤンマ			
27		ギンヤンマ			
28		コシボソヤンマ			
29		ミルンヤンマ			
30		ヤマサナエ			
31		クロサナエ			
32		ダビドサナエ			
33		ヒメクロサナエ			
34		コオニヤンマ			
35		オジロサナエ			
36		タベサナエ	NT		
37		コサナエ		EN	
38		オニヤンマ			
39		タカネトンボ			
40		ヨツボシトンボ			
41		シオカラトンボ			
42		シオヤトンボ			
43		オオシオカラトンボ			
44		コシアキトンボ			
45		キトンボ			
46		マユタテアカネ			
47		オナシカワゲラ属			
48		オオアメンボ			
49		アメンボ			
50		ヒメアメンボ			
51	水生昆虫類	コセアカアメンボ			
52		ヤスマツアメンボ			
53		シマアメンボ			
54		ケシカタビロアメンボ属			
55		ナガレカタビロアメンボ			
56		オオミズムシ	NT	NT	
57		チビミズムシ属			
58		エサキコミズムシ			
59		ミズカマキリ			
60		コマツモムシ			
61		マツモムシ			
62		センブリ属			
63		ホタルトビケラ			
64		クロゲンゴロウ	NT	NT	
65		ハイロゲンゴロウ			
66		コシマゲンゴロウ			
67		ヒメゲンゴロウ			
68		コガシラミズムシ			
69		キヒロヒラタガムシ			
70		スジヒラタガムシ	NT		
71		コガムシ	DD		
72		ガムシ	NT		
73		ヒメガムシ			
74		ムナビロツヤドロムシ			
75		チビヒゲナガハナノミ			
76		マルヒラタドロムシ			
77		ゲンジボタル			
78	魚類	スナヤツメ南方種	VU	CR	
79		コイ			
80		フナ属			
81		オイカワ			
82		カワムツ			
83		タカハヤ			
84		ムギツク			
85		カマツカ			
86		ドジョウ	NT	EN	
87		ミナミメダカ	VU	EN	
88		ドンコ			
89		イシドンコ	VU	CR	
90		カワヨシノボリ			
91	両生類	アブサンショウウオ	EN	VU	
92		アカハライモリ	NT	NT	
93		ニホンアマガエル			
94		ニホンアカガエル			
95		トノサマガエル	NT	NT	
96		ツチガエル			
97		ヌマガエル			
98		シュレーゲルアオガエル			
99		モリアオガエル		NT	
100	爬虫類	ニホンイシガメ	NT	VU	
種数合計			16種	13種	4種

※環境省RL(レッドリスト)・山口県RDB(レッドデータブック):

絶滅のおそれのある生物種を心配されるレベルに応じてランク付けして整理したもの

ランクの区分 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足

アブサンショウウオ

(環境省RL:絶滅危惧ⅠB類、山口県RDB:絶滅危惧Ⅱ類)



<分類と特徴>

カスミサンショウウオ(阿武型)として分類されていたが2019年に新種として分類された。体長は約10cm。他の近縁種よりも大きく、あしや尾が長い。

<分布>

山口県萩市、阿武町、山口市の北部及び島根県津和野町の狭い範囲にのみ分布する。

<生態>

成体は湿った林床にすむ。春先(1月下旬~2月ごろ)、湧き水がたまった水たまりにバナナ状の卵を産む。卵からふ化した幼生はエラをもち、水中で生活する。6月中旬ごろエラが無くなって上陸し、近くの山で生活する。

山での生活の詳細は不明。似た生活史のトウキョウサンショウウオは、山で数年間すごし、親に成長する。普段は落ち葉がたまった林床の地下トンネル(ネズミの穴など)にすみ、雨の日や夜間は地表に出て餌を探すこともある。産卵場所から100m程度の範囲の林床で成体が多く見つかっている。

生活史



成魚（全長10～15cm）



幼魚（全長1～3cm）



ドジョウ

（環境省RL:準絶滅危惧、山口県RDB:絶滅危惧ⅠB類）

小川や農業水路にすみ、**水草が多い泥底を好む**。
春～初夏に**田んぼやその周りの小溝にそ上して産卵**する。ふ化した幼魚はミジンコやイトミズをエサとして**田んぼで成長**し、水がなくなると水路に流れ下る。
冬は、**水路の深場の水草の間や堀上げの泥底など**に潜って越冬する。水が干上がる場所では、湿った土の中に潜ってすごすこともある。

ウナギ幼魚（全長約15cm）



<体の特徴や見分けるポイント>

ヌメリのある細長い体はウナギに似ているが、ドジョウは短い口ひげが10本あり、ウナギには無い。また、ドジョウは小さな背ビレだが、ウナギの背ビレは尾の先まで長くつながる。

生活史

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産卵					田んぼにそ上して産卵							
幼魚					田んぼで小さな水生動物を食べて成長			田んぼから水路に移動して成長				
成魚	水路の泥底で越冬				成魚は4～5年生きる							



ヤマアカガエル



成体(親ガエル)



卵のかたまり



幼体(子ガエル)



幼生(オタマジャクシ)

ニホンアカガエル

早春に田んぼや湿地の**日当たりの良い浅い水たまりに産卵**する。ふ化した幼生は、藻を食べて**田んぼで成長**し、その後、あしが生えて幼体になる。
幼体は小さな虫などを食べて**田んぼのあぜ**で過ごした後、**周りの草むらや山**に入る。
冬は、**落ち葉がたまった農業水路の泥底**などで越冬する。

<体の特徴や見分けるポイント>

成体は赤っぽい体色で、腹側は白い。幼生は、背中に黒い点が二つあるものが多い。よく似たヤマアカガエルは山奥にすみ、体の横がまだら模様で、あごの下に黒い模様がある。

生活史

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産卵	日当たりの良い田んぼの水たまりに産卵											
幼生・幼体		田んぼで藻や水草を食べて成長					田んぼのあぜや法面ですごした後、草むら山に入る					
成体					成体は3～4年生きる				水路の泥底など越冬			

ミズカマキリ



成虫(全長約8cm)



幼虫
(全長約1cm)



タイコウチ(全長約6cm)

生活史

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産卵					田んぼのあぜで産卵							
幼虫					田んぼで小さな水生動物を食べて成長							
成虫	ため池やよどみで越冬				産卵後ほとんどが死亡			新成虫→	ため池やよどみを移動しながら生活			

<体の特徴や見分けるポイント>

体が細長く、前肢がカマ状。しっぽのような「呼吸管」が長く伸びる。似た種類のタイコウチは、体が幅広くて平たい。

クロゲンゴロウ

(環境省RL:準絶滅危惧、山口県RDB:準絶滅危惧)



ガムシ(全長3~4cm)



成虫(全長約2cm)



幼虫(全長3~5cm)

ため池、休耕田、田んぼ脇の堀上げなどのやや浅くて水草が多い水中にすむ。

春～夏に田んぼに生えた水田雑草(オモダカ、コナギなど)の茎に産卵する。ふ化した幼虫はイモムシ体形で、ヤゴなどを食べて田んぼで成長する。その後、あぜ土に潜ってさなぎになり、夏の終わり～秋の始めごろ新成虫になる。

新成虫は、秋～初冬の間はため池や堀上げなどを移動しながら生活し、冬は水草の間や水底の泥に潜って越冬する。

<体の特徴や見分けるポイント>

成虫は、だ円形で一様に黒っぽく、太い後ろ足をボートのオールのように動かして上手に泳ぐ。似た種類のガムシは、後ろ足が細く泳ぎが下手で、水底を歩くように移動する。

生活史

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産卵					田んぼの水田雑草に産卵							
幼虫・さなぎ					田んぼでヤゴなどを食べて成長							
成虫	ため池や堀上げで越冬							新成虫→	ため池や堀上げを移動しながら生活			

産卵後も2~3年生きる



ビオトープづくり(管理)のポイント

水辺の生きものは、種類によって**好む環境がさまざま**です。
色々な生きものがすめるように、**流速や水深がちがう場所**をつくりましょう。



★たくさんの生きものがすむビオトープづくりの例



← モデルとした火打原のビオトープ

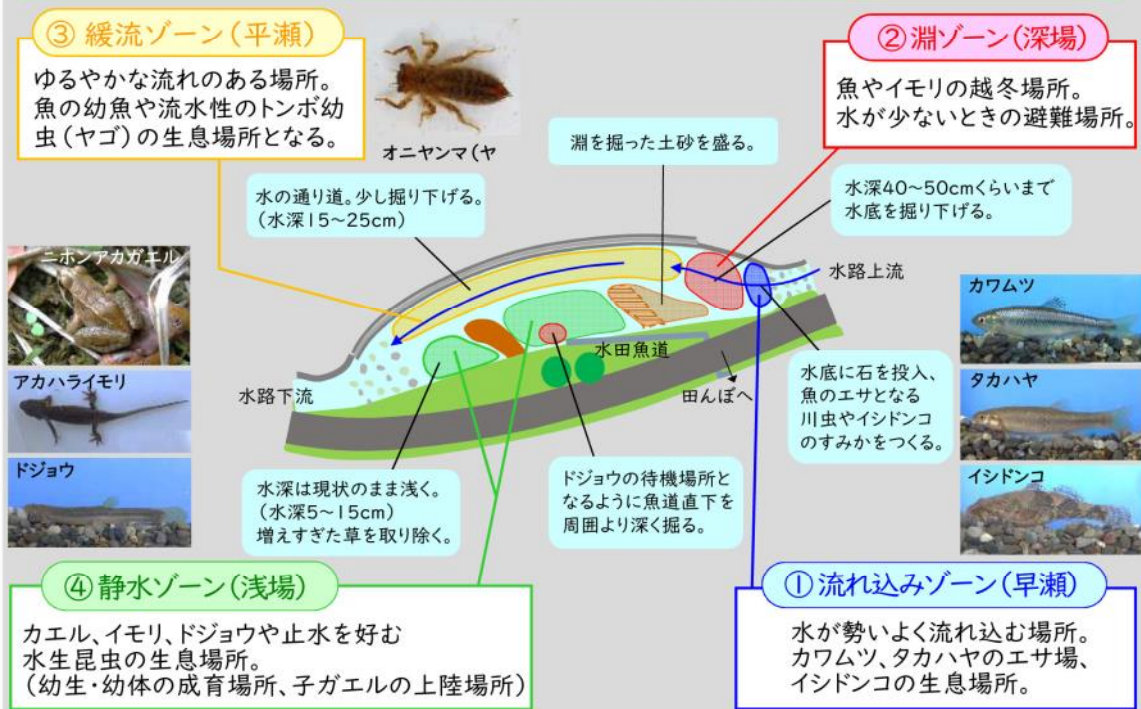
- ・魚類など生きものがすみやすいように、水路の幅を広げ、田に魚がのぼる道(水田魚道)などを整備したビオトープ。
- ・毎年3回、地元保全団体の人達が草刈りを行っています。
- ・土砂が溜まりやすく、放っておくと陸になってしまいます。

生きものがすみやすい場所として維持するには・・・

- これまでどおり、**年3回程度の草刈り**を続ける。
- **数年に1回は、溜まった土砂を取り除く。**
- 土砂を取り除いたら、**ビオトープの手直し**する。

【 ビオトープのできあがり目標イメージ 】

4つのゾーニングで色々な種類の生きものが集まる場所をつくろう!



<作業をするときの注意点>

- ・作業をするときは、はき物をはいて軍手をつけましょう。
- ・道具を使うときはまわりに人がいないか確認しましょう。
- ・みんなで力をあわせて作業しましょう。
ただし、できるだけ同じ場所にかたまらないようにしましょう。
- ・ゆっくり、楽しく、休けいしながら作業しましょう。



発行元・問い合わせ先: 農林水産省 中国四国農政局 農村振興部 農村環境課 086-224-4511(代)